

令和7年度

「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立菅南幼稚園

令和8年3月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 園の周囲は高層ビルや交通量の多い道路に囲まれている。子どもたちは、地域や保護者から十分に守られて生活している。予測不可能な危険にも備え、自ら健康や安全に関心をもち、安心できる生活をつくり出していく力を養うことが必要である。
- 入園前の子どもたちは、個人差はあるが限られた人との関わりの中で育ってきている傾向がある。園生活の中で様々な人と関わり、心温まる経験を積み重ねていくことで、子どもにとって幼稚園が安心して自己発揮できる場所となるようにする。
- 本園の子どもたちは、家庭で大切に育てられている。ただ、大人が意図を汲み取り過ぎる側面もあり、受け身になる姿も見られる。日々の様々な活動を通して、多様な体験を積み重ね、主体的にのびのびと遊ぶことで学びの芽を育むことに繋げる。
- 歴史や伝統のある地域に立地し、昨年度、創立140年を迎えた。広範囲からの通園も増えているが、地域からは「菅南地域の子ども」として地域の行事などに誘っていただき、温かく見守られて育っている。また、PTA活動も活発で、子どもたちのためにと園行事の手伝いにも積極的に取り組んでおり、地域とも関わりも深い。子どもも保護者も、地域とのかかわりの中で、周囲の人たちに支えてもらっていることを実感している。新型コロナウイルスの感染拡大の時期に少なくなっていた幼稚園、家庭、地域と連携した教育活動を積極的に進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の保護者アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しいと感じていますか」に対して、肯定的な「そう思う(だいたいそう思う)」を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の保護者アンケート調査で、「子どもは、心身ともに元気で主体的に遊んでいますか」に対して、肯定的な「そう思う(だいたいそう思う)」を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、子どもたちのために、家庭や地域と連携し教育活動をしていると思いますか」に対して、肯定的な「そう思う(だいたいそう思う)」を85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しいと感じていますか」に対して、肯定的な「そう思う（だいたいそう思う）」を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、「子どもは、心身ともに元気で主体的に遊んでいますか」に対して、肯定的な「そう思う（だいたいそう思う）」を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、子どもたちのために、家庭や地域と連携し教育活動をしていると思いますか」に対して、肯定的な「そう思う（だいたいそう思う）」を85%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

本年度の幼稚園運営全体を通し、中期目標の達成に向けた3つの年度目標をすべて達成した。子どもも保護者も幼稚園に通う喜びや楽しさを感じられるように、安全・安心な教育環境の充実に努めた。また、子どもが心身ともに元気で主体的に遊び、園生活が充実するように、教職員で定期的に保育内容を検討し共通理解を行ったり、互いの保育を見合って学び合う機会をつくったりして、教職員の資質向上に努めたり、様々な人と交流して親しみをもてるように、家庭や地域と連携することに努め、成果が見られた。

来年度も子どもや保護者が安心して楽しく幼稚園に通い、地域に根差した幼稚園として保育を進めていけるように、課題を明確にし、教職員の共通理解を行い、充実した保育を進めていく。

(様式2)

大阪市立菅南幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○令和7年度末の保護者アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しいと感じていますか」に対して、肯定的な「そう思う(だいたいそう思う)」を85%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【1安全・安心な教育環境の充実】 交通安全に関する意識や態度を高める指導を工夫する。	B
指標 ・月1回以上、交通安全指導を行う。 ・学期に1回以上、保護者を含めた交通安全指導を行う。	
取組内容②【2豊かな心の育成】 挨拶を交わす心地よさや大切さを知り、自ら挨拶をしようとする心を育てる。	A
指標 ・毎日、教師や友達と挨拶をする時間をつくる。	
取組内容③【2豊かな心の育成】 互いのよさや個性を認め合える心を育てる。	A
指標 ・学期に2回以上、園内委員会を実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しいと感じていますか」に対して、肯定的な「そう思う(だいたいそう思う)」が100%だった。

取組内容①

- ・毎月保護者に配布している幼稚園だよりに「こころにとめよう！交通安全」と称して毎月の交通安全目標を掲げ、保護者に啓発した。
- ・4月に「登降園時の安全について」の手紙を配布し、保護者に啓発するとともに、各クラスで子どもに安全指導を行った。5月の中之島公園への園外保育、6月の津波を想定した避難訓練の二次避難の際には、歩道の歩き方や信号の約束について安全指導を行い、園外での安全な行動の仕方について知らせた。
- ・1学期の終業式では天満警察による親子安全指導を実施し夏季休業前に安全についての意識を高め、2学期の終業式では区役所の「あんまち隊」による自転車に乗るときの約束や不審者対応などの親子安全指導を実施し安全に対する意識を高めることができた。
- ・9月以降は西天満小学校の校庭をお借りして運動会ごっこをする際、道中の交通安全について意識し、安全に園外での活動ができるように事前指導を各クラスで行った。
- ・3学期には希望する保護者と子どもが堀川戎に参加し、幼稚園からの道中を親子で安全

に歩けるように交通安全について再確認をした。

取組内容②

- ・ 5歳児が「あいさつ当番」として通用門に立ち、登園する子どもや保護者に向けて挨拶をしている。あいさつ当番は、全員が週1回ずつ経験できるように6人ずつのグループにした。5歳児が率先して朝の挨拶をすることで、3歳児、4歳児も刺激を受け、保護者と一緒に挨拶をするようになってきた。子どもや保護者の挨拶の声で登園時に明るい雰囲気ができ、安心感につながっている。継続して取り組むことで、5歳児は当番として友達と一緒に全園児に挨拶をする経験を重ねることができ、自信をもって自ら元気よく挨拶をするようになってきた。3月からは、4歳児と一緒にあいさつ当番をすることで、進学に期待をもちながら次年度へとつなげられるようにした。年長児と一緒に挨拶をすることで、互いに刺激を受け合いながら挨拶をする心地よさを感じている。
- ・ 各クラスでも、毎日挨拶の歌を歌ったり当番活動をしたりして、教師や友達と挨拶を交わす機会をつくっている。日々積み重ねることで習慣付き、友達と笑顔で顔を見合わせながら挨拶をするようになってきている。
- ・ 養護教諭による保健指導や保護者有志による絵本ボランティア、地域の方々や他校種との関わりなどの機会をとらえ、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとうございます」など、時間や場面に応じた挨拶を知らせて挨拶をしている。様々な人と挨拶をする経験が少しずつ積み重なって、登園時に自ら教師や友達に朝の挨拶をしたり、幼稚園を訪れた方に昼の挨拶をしたりするなど、場面に応じて様々な人に挨拶をする姿が多く見られた。
- ・ 外国にルーツのある子どもも多くいるが、決まった挨拶の言葉は分かりやすく言葉にしやすいため、友達と気持ちを交わす機会になっている。また、各クラスの実態に応じて、いろいろな国の挨拶の言葉を全体に知らせ、互いの国の言葉に関心をもてるようにしている。

取組内容③

- ・ 外部講師や北区プレスクールワーカー等を招き、1学期には園内研修会を4回実施し、2学期は5回、3学期は2回実施できた。園内研修会のたびに、子どもたち一人一人についての理解を深め、学んだことを教職員で共通理解し、保育実践に活かしていくことができた。
- ・ 療育施設に見学に伺ったり、関係者会議を開催して子どもの実態について伝え合ったりして、園や療育施設、家庭でも子どもに対して同じ支援ができるように連携している。
- ・ 保育後には、子どもたちの様子や育ちについて、教職員同士、職員室で毎日伝え合い、共通理解している。
- ・ 3月には保護者向けに外部講師を招いて子育て相談会を実施した。
- ・ 小学校から先生を招いたり小学校へ連絡したりして、5歳児の引継ぎを行い、一人一人が安心して就学できるように連携を行った。

今後の改善点

- ① 今後も機会をとらえて、保護者にも啓発していけるよう計画的に交通安全指導を進めていく。
- ② 今後も場面に応じて様々な人に挨拶をする機会を大切にし、挨拶を交わす心地よさを感じる経験を積み重ねて、自ら挨拶をしようとする心を育てていきたい。
- ③ 今後も計画的に園内研修会の日程を決めて幼児理解を深めていくとともに、教職員同士が日々、子どもたちのことを伝え合える和やかな職員室づくりを進めていく。

大阪市立菅南幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○令和7年度末の保護者アンケート調査で、「子どもは、心身ともに元気で主体的に遊んでいますか」に対して、肯定的な「そう思う(だいたいそう思う)」を85%以上にする。</p>	A
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容① 【3 幼児教育の推進と質の向上】</p> <p>教職員の資質向上に努めるとともに、就学前教育カリキュラム等を活用し、保育内容を充実させる。</p>	A
<p>指標 ・学期に2回以上、互いの保育案を見合って学び合う機会をつくる。 ・年3回以上、園内研究会をする。 ・保育の打ち合わせを週1回以上行う。</p>	
<p>取組内容② 【5 健やかな体の育成】</p> <p>遊びの中で多様な動きを獲得できるような保育内容を工夫する。</p>	A
<p>指標 ・週1回以上、体操や律動など意図的に体を動かす活動を取り入れる。</p>	
<p>取組内容③ 【5 健やかな体の育成】</p> <p>基本的な生活習慣を身に付け、健康的な生活を送る態度を育てる。</p>	A
<p>指標 毎月、基本的な生活習慣に関する内容を保健指導に取り入れる。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>○令和7年度末の保護者アンケート調査で、「子どもは、心身ともに元気で主体的に遊んでいますか」に対して、肯定的な「そう思う(だいたいそう思う)」が100%だった。</p>	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの反省や研究保育指導案を各学年で見合い、各クラスの取り組みや担任の思い、子どもの成長や今後の見通しなどを知ることができた。担任の保育観や子どもの実態を理解し合えたことが、教師の資質向上につながった。 ・6月に年長児の園内研究保育、9月、1月に全学年の研究保育を行った。就学前教育カリキュラム等を活用して保育案を作成し、討議会では保育の様子を撮影した動画を見ながら振り返ったことで、幼児理解が深まった。 ・保育の打ち合わせを毎週木曜日と決めたが、日々、保育の予定を伝え合い、連携をとった。木曜日に打ち合わせることが難しい時には、職員朝礼でも当日の保育内容や遊戯室の使用時間などを相談して連携が取れるようにした。 ・6月、1月、2月に西天満小学校の研究授業に参加した。幼稚園の遊びや活動の中での育ちや学びが小学校の学習につながっていることを再認識し、保護者にも伝えた。 	
<p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の実態に応じて律動遊びを取り入れ、様々な体の動きを経験できるようにしている。異年齢で取り組む機会をつくることで、5歳児の姿に刺激を受けてやってみよう 	

する姿や、意欲的に取り組む姿が見られた。

- ・運動会までの取り組みの中で、各学年それぞれの発達段階にあった活動を通して、意図的に体を動かす機会を多くもつことができた。5歳児は一輪車、ペダルローラー、竹馬、長縄から自分の決めた運動遊びに挑戦した。3, 4歳児は、5歳児が毎日一生懸命取り組んでいる姿や運動会での姿を見て刺激を受け、自ら様々な運動遊びに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむようになった。
- ・全園児で毎月取り組む体操の年間計画を立て、誕生会や戸外遊びの後に全員で体操をする時間をつくり、友達と一緒に体を動かす楽しさを感じることができた。

4月	あひるのダンス	7月	ランランマゼランペンギン めっちゃ元気体操
5月	こいぼり体操 へっちゃらぼんち	9月 10月	めっちゃ元気体操
6月	ランランマゼランペンギン	11月	ちょっとだけ体操

12月	クリスマスのうたが きこえてくるよ	1月	こすれこすれ
2月	こちょこちょむしのこちょ たろう	3月	ハッピーバースデー カーニバル

取組内容③

4月	手洗い・うがい	11月	鼻のかみかた
5月	朝ごはん	12月	あいうべ体操
6月	むし歯予防	1月	手洗い・うがい
7月	熱中症予防	2月	睡眠について
9月	けがの予防	3月	心の健康について
10月	早寝早起き朝ごはん朝うんち		

- ・毎月、体重測定時などの機会をとらえて基本的な生活習慣に関する保健指導を行った。養護教諭が行った保健指導の内容を担当等が各クラスで振り返り、日々の声かけを行っている。繰り返し声かけをしたり、教師も一緒にしたりすることで身に付いてきている。
- ・保健指導の内容をほけんだよりやクラスだよりに載せ保護者に啓発したことで、意識して取り組む家庭が増えてきている。
- ・昼食後に、3歳児は楽しみながら歯みがきの習慣が身につくように、歯の模型を見ながら教師と一緒にみがき、4・5歳児は、みがき方の図を見ながらみがいている。また、5歳児は歯みがき後に歯みがきカレンダーの色塗りをすることにも興味をもち、励みにしている。
- ・本園は、令和3年度に学校歯科保健功労文部科学大臣賞を受賞した。その後も優れた学校歯科保健活動を行っていると評価され、今年度、学校歯科保健功労内閣総理大臣賞を受賞した。養護教諭の指導の下、教職員、子ども、保護者がともに歯を大切に、歯みがきに取り組んだ成果である。

今後の改善点

- ① 今後も、就学前教育カリキュラム等を活用し、保育の内容がより深まり学び合う機会になるように、反省や保育案を見せ合う機会をつくっていく。また、保育の打ち合わせや反省会など、週1回はもてるように計画的に実施する。
- ② 今後も、各学年の発達段階に合わせ、意図的に体を動かす活動を行い、多様な体の動きを獲得できるように体操や律動も継続していく。
- ③ 生活習慣は繰り返し指導することで身に付く。特に幼児は家庭と連携して進めることが大事なので引き続き家庭と連携して進めていきたい。

(様式2)

大阪市立菅南幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ○令和7年度末の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、子どもたちのために、家庭や地域と連携し教育活動をしていると思いますか」に対して、肯定的な「そう思う(だいたいそう思う)」を85%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【8生涯学習の支援】 子どもたちが絵本に多く触れられるように、家庭や地域と連携する。 指標 ・親子絵本デーを月1回以上実施する。 ・保護者や地域の絵本ボランティアを学期に2回以上実施する。	A
取組内容②【9家庭・地域等と連携・協働した教育推進】 いろいろな人と関わり、交流する経験を通して、周りの人たちに親しみをもつ。 指標 ・月1回以上、未就園児と触れ合う機会をもつ。 ・年8回以上、地域・学校と関わる機会を計画する。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、子どもたちのために、家庭や地域と連携し教育活動をしていると思いますか」に対して、肯定的な「そう思う(だいたいそう思う)」が100%だった。

取組内容①

- ・毎週金曜日に絵本貸し出しを行っている。親子で話をしたり、触れ合ったりして絵本を見ることを楽しみ、様々な絵本に親しむ機会となっている。絵本カードに家庭で絵本を読んだ感想や子どもの様子などを書いてもらった。また、子どもの絵本を読む姿について家庭と園で共通理解できるように、月に1回担任からもコメントを書いている。
- ・月1回以上、親子で1冊ずつ絵本を選んで借りたり、親子2組での読み聞かせをする親子絵本デーを実施したりした。読み聞かせの日には、年齢や子どもの興味に合わせた絵本を教職員が選んで準備し、親子2組で1グループとなり、保護者が代わり合って1冊ずつ読み聞かせた。クラスの子どもと保護者が関わり合い、和やかな雰囲気の中で絵本の読み聞かせを楽しむことができた。
- ・6月、10月、11月、2月には、絵本ボランティアの保護者に絵本の読み聞かせをしていただき、家庭のような温かい雰囲気の中で、絵本を見ることを楽しんだ。定期的に絵本の修繕や絵本コーナーの整理をして、子どもが気持ちよく絵本に親しめる環境を整えてくださった。また、子どもたちが絵本により親しめるように絵本ボランティアの方のお勧めの様々なジャンルの楽しい絵本を購入した。9月には北図書館の絵本ボランティアの方に、各クラスで絵本の読み聞かせをしていただき、楽しんで話を聞いていた。さらに、9月末には5歳児が、西天満小学校の5年生に絵本の読み聞かせをしてもらい、小学生への憧れと親

しみをもった。いろいろな人との関わりとともに、いろいろな絵本を触れて楽しむことができた。

取組内容②

- ・未就園児が在園児と一緒に楽しめるように計画し、4月から毎月2回ずつ未就園児活動を実施した。多くの未就園児と保護者が参加できるよう、ホームページに未就園児のページをつくり、毎回の開催日程を分かりやすく表示したり、大きな掲示板をつくって学期ごとの日程を園の外壁に掲示したりして、広く発信した。活動時は、全園児と一緒に園庭で遊ぶだけでなく、回ごとにそれぞれの学年が歌を歌ったり、受付の手伝いをしたりして、関わる機会をつくった。未就園児活動の日を楽しみにして、年下の友達に親しみ、名前や顔を覚えて自ら関わったり、遊びに誘いかけたりするなど、思いやりの気持ちをもって優しく関わろうとする姿が見られるようになった。

毎月の未就園児活動では、各回で園児と関わって遊ぶ機会を取り入れた。

4月	ダンス、絵本 こいのぼりで遊ぶ	9月	泥んこ・水遊び 運動会ごっこ	1月	外遊び 絵本の読み聞かせ
5月	ふれあい遊び 手形遊び	10月	絵本の読み聞かせ サーキット遊び	2月	楽器遊び 手遊び
6月	泥んこ・色水遊び おまつり遊び	11月	カレンダーづくり	3月	歌を歌う
7月	プール遊び	12月	ジャグリング 吹奏楽		

- ・7月は、天神橋筋商店街と大阪取引所に子どもたちの笹飾りや保護者とかいた短冊を飾ってもらった。5歳児は、大阪取引所に笹飾りを見に行き、地域の施設を知り、地域の方が優しく見守ってくれていることを実感する機会となった。
- ・9月は、菅南敬老会、敬老の日の集いを行った。菅南敬老会では地域のお年寄りの方、敬老の日の集いでは園児の祖父母の方との関わりを楽しんだ。顔を見合わせて触れ合いを楽しみ、お年寄りの方に親しんだり思いやりの気持ちをもったりする機会となった。
- ・9月、10月は運動会の取り組みで西天満小学校に訪れた。小学校の先生や小学生が手を振ったり声をかけたりしてくれ、優しく関わってくれる喜びを味わった。5歳児は、9月に5年生との絵本の読み聞かせによる交流も行った。また、休み時間に5年生が一輪車を教えてくれた。一緒に遊びながら次の日の約束をしたり、5歳児が自ら誘いかけたりするなど、自然な関わりの中で親しみ、小学生への憧れの気持ちが大きくなった。
- ・中学校や高校、大学との関わりの機会ももった。6月に天満中学校、1月に桜和高校の職業体験、11月と2月に北稜中学校の職業体験を行い、中学生や高校生と関わった。また、6月と9月に桜和高校の教育体験で5歳児が高校生と関わった。また、9月は常磐会短期大学や大阪成蹊大学の教育実習を行った。優しく関わってくれる中学生や高校生、大学生に親しみや憧れの気持ちをもった。また、12月に桜和高校吹奏楽部による演奏会、2月に卒園児によるトランポーン演奏会を行い、様々な楽器や壮大な演奏に関心をもち、高校生への憧れの気持ちを高める経験となった。
- ・10月には、近隣の滝川幼稚園の子どもたちとの交流を行った。互いに単学級であるため、大勢の友達と遊んだり一緒に歌ったりして、互いに刺激を受け合いながら関わりを楽しむ経験となった。同じ小学校に進学する友達を知り、親しむ機会にもなった。
- ・12月に5歳児が地域のライブラリーを訪れ、地域の施設に親しみながら、ゆったりした環境の中で様々な絵本を見ることを楽しんだ。ライブラリーの方も温かく関わってくださり、地域の方に大切に見守られていると感じることができた。

- ・ 2月に5歳児が西天満小学校との交流を行った。小学生との関わりを楽しみ、小学生への憧れの気持ちをもったり小学校生活に期待をもったりした。小学校の作品展では、5歳児の絵を展示してもらい、5歳児は見学も行った。小学生がつくった作品に関心をもち、さらに小学校に親しみ、憧れの気持ちや期待を高める機会となった。
- ・ 2月に西天満小学校の栄養教諭を招き、食育講演会を実施した。5歳児は栄養教諭とパワーポイントを見ながら話を聞いて、親しみをもち、給食に期待感が高まった。
- ・ 園外保育で地域の方の家の前を通る際に、前まで出てきてくださり、挨拶をしたり話をしたりして地域の方を知り、親しむ機会となった。地域の方を身近に感じ、いつも大切に見守ってくださっていることを実感することができた。

今後の改善点

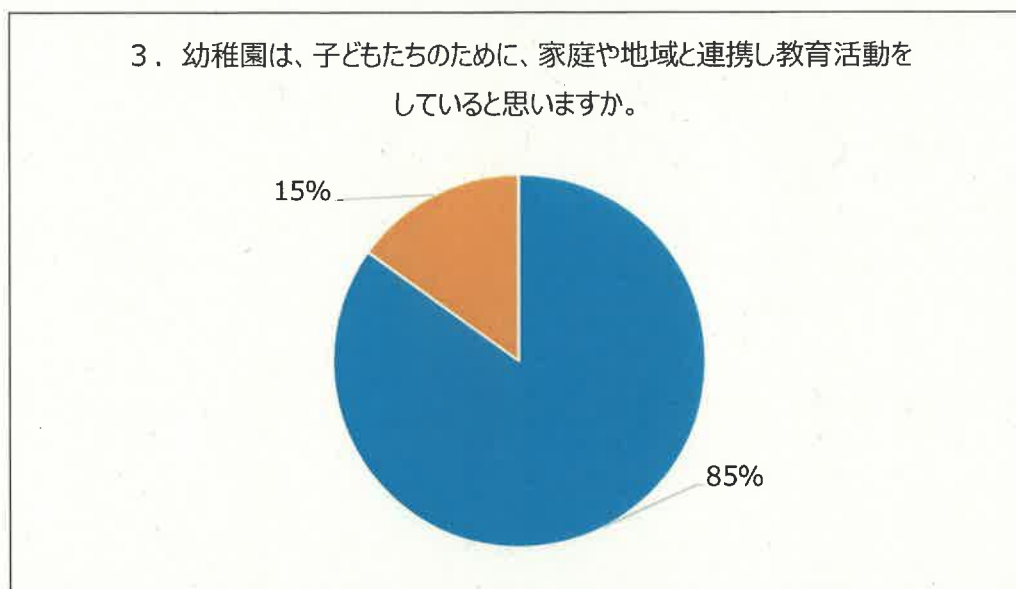
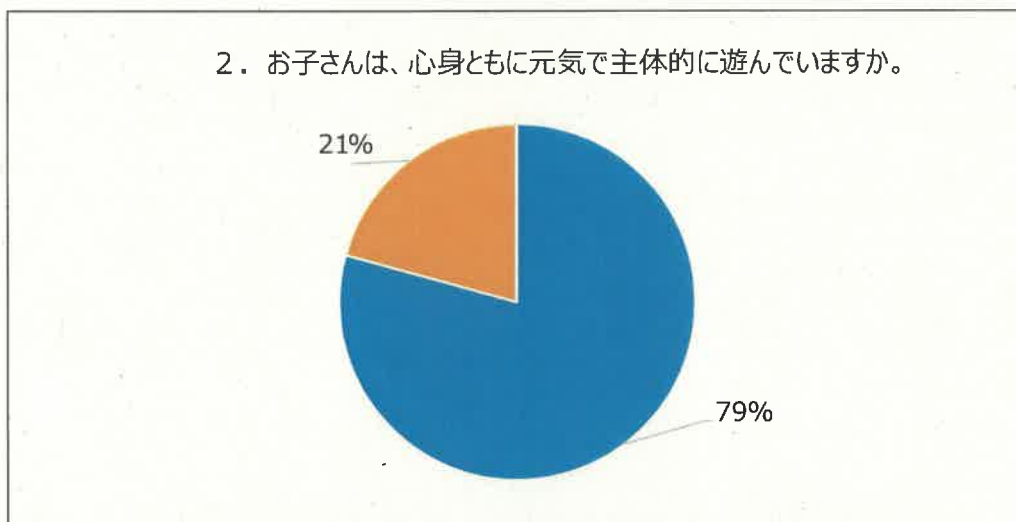
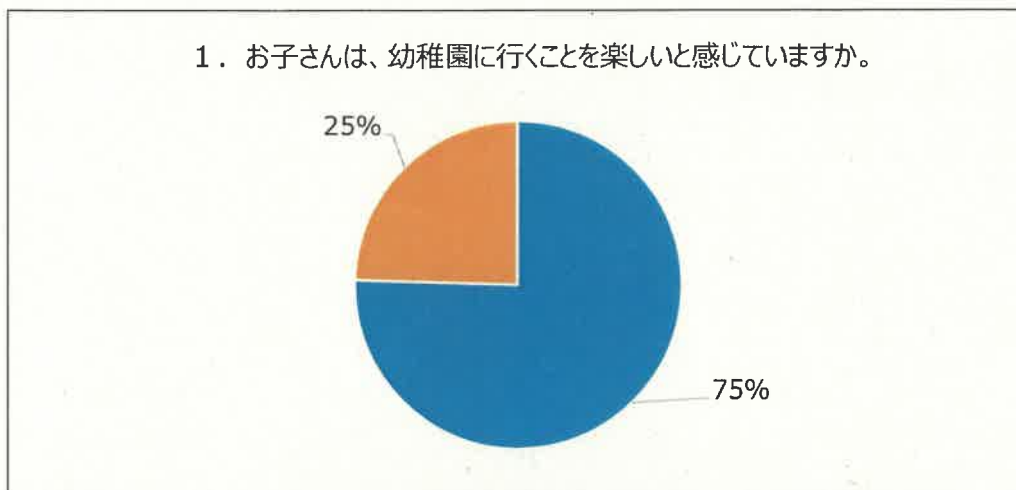
- ① 引き続き親子絵本デーを活用し、いろいろな人と様々な絵本に触れていく機会になるように進めていく。
- ② 今後も、地域の方が見守ってくれていることを実感し、様々な人と関わる楽しさを味わえるように、地域の方や学校園と連携して、関わる機会をつくっていきたい。

過日、本園の教育活動についてアンケートをお願いしましたところ、多くのご回答をいただきまして、ありがとうございました。集計結果を下記の通り、お知らせいたします。

皆様からお寄せいただきましたアンケート結果を今年度の保育の振り返りに活用させていただきます。今後も教職員一同、力を合わせて子どもたちのよりよい成長のために努めてまいります。保護者の皆様のあたたかいご協力に感謝申し上げます。

令和7年度第2回菅南幼稚園教育アンケート集計結果（回答53人/54人）（回収率98.0% 2月10日現在）

■（そう思う） ■（だいたいそう思う） ■（あまり思わない） ■（思わない）



令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 菅南幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

○本年度の幼稚園の自己評価結果は妥当である。
 中期目標と同じくした令和7年度の年度目標の達成に向け、教職員が連携して保育内容を工夫することで、子どもたちが充実した園生活を過ごし、家庭や地域との関わりを通して育っていることが伺えた。すべての取組について、保護者アンケートの結果は目標値を達成しており、評価できる。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

○今年度の保護者アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しいと感じていますか」の項目について肯定的な「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する割合を85%以上にする。

○達成状況の評価については妥当である。
 ○交通安全指導については、交通量の多い地域であるため、今後も継続してほしい。
 ○教職員や保護者、地域が子どもたちに温かく接し、一人一人を大切にしていることで、子ども同士もお互いの良さを認め合う姿が見られる。今後も継続してほしい。
 ○「子どもは、幼稚園に行くことを楽しいと感じていますか」の項目について肯定的な「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する割合が100%で目標達成しているが、「そう思う」が75%、「大体そう思う」25%であることに注目し、子どもたち一人一人が楽しいと心から思えるように、次年度も安心・安全な教育の推進を目指してほしい。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

○今年度の保護者アンケート調査で、「子どもは、心身ともに元気で主体的に遊んでいますか」の項目について肯定的な「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する割合を85%以上にする。

○達成状況の評価については妥当である。
 ○保育内容の工夫や園内研修を行い、教育の質の向上に努めている。今後も大阪市立幼稚園の教育を広く発信し続けてほしい。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

○今年度の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、子どもたちのために、家庭や地域と連携し教育活動をしていると思いますか」の項目について肯定的な「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する割合を85%以上にする。

○達成状況の評価については妥当である。
 ○地域の施設に出かけたり、地域、小・中・高校の方々や卒園生、未就園児等との関わる機会をもったりして、関わりが広がった。また、園内でも異年齢の関わりが継承されており、「優しさの連鎖」を子どもたちの姿から感じた。同年齢や異年齢の友達、保護者や教職員、地域の方々や地域に親しみをもって様々な人と関わる中で、自分が大切にされていることを感じる心の育ちに繋がっている。

3 今後の学校園の運営についての意見

今後も、家庭や地域との連携を深め、人や地域とのつながりを大切にし、優しく思いやりのある気持ちが連鎖する教育実践を期待する。また、引き続き教職員が連携して子どもたちの学びを保障し、教育内容の充実と発信に努めてほしい。